



2020年3月期 中間決算情報〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

会社名 成田国際空港株式会社 上場取引所 —
 コード番号 — URL <https://www.naa.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 明比古
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部門財務部長 (氏名) 山本 健 TEL 0476 (34) 5400
 半期報告書提出予定日 2019年12月25日
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 有
 中間決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期中間期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|-------------|---------|------|--------|------|--------|------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期中間期 | 126,797 | 1.4 | 29,337 | △5.9 | 28,455 | △6.3 | 18,395 | △10.3 |
| 2019年3月期中間期 | 125,106 | 10.6 | 31,164 | 24.5 | 30,382 | 30.6 | 20,509 | △14.5 |

(注) 包括利益 2020年3月期中間期 19,287百万円 (△6.0%) 2019年3月期中間期 20,527百万円 (△13.6%)

| | 1株当たり 中間純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり 中間純利益 | |
|-------------|----------------|----|-----------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 2020年3月期中間期 | 9,197 | 95 | — | — |
| 2019年3月期中間期 | 10,254 | 94 | — | — |

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期中間期 10百万円 2019年3月期中間期 18百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|---------|--|---------|--|--------|---------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 | 銭 | |
| 2020年3月期中間期 | 820,064 | | 372,951 | | 44.5 | 182,458 | 28 | |
| 2019年3月期 | 818,854 | | 364,391 | | 43.5 | 178,192 | 89 | |

(参考) 自己資本 2020年3月期中間期 364,916百万円 2019年3月期 356,385百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | | 投資活動による キャッシュ・フロー | | 財務活動による キャッシュ・フロー | | 現金及び現金同等物 中間期末残高 | |
|-------------|----------------------|--|----------------------|--|----------------------|--|---------------------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | 百万円 | | 百万円 | |
| 2020年3月期中間期 | 40,125 | | △16,813 | | △16,329 | | 42,800 | |
| 2019年3月期中間期 | 40,404 | | △12,779 | | △21,399 | | 41,702 | |

2. 配当の状況

| (基準日) | 年間配当金 | | | | | |
|--------------|-------|---|-------|----|-------|----|
| | 中間期末 | | 期末 | | 合計 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 2019年3月期 | — | | 5,364 | 00 | 5,364 | 00 |
| 2020年3月期 | — | | — | | | |
| 2020年3月期(予想) | — | | 未定 | | 未定 | |

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|---------|-----|--------|-------|--------|-------|---------------------|-------|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 251,700 | 0.8 | 46,500 | △16.7 | 44,800 | △16.5 | 27,900 | △22.0 | 13,950 | 00 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年3月期中間期 | 2,000,000株 | 2019年3月期 | 2,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期中間期 | －株 | 2019年3月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数（中間累計） | 2020年3月期中間期 | 2,000,000株 | 2019年3月期中間期 | 2,000,000株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期中間期の個別業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 中間純利益 | |
|-------------|--------|-----|--------|------|--------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期中間期 | 87,865 | 2.0 | 24,423 | △4.7 | 23,389 | △5.7 | 15,100 | △10.6 |
| 2019年3月期中間期 | 86,114 | 5.9 | 25,640 | 22.6 | 24,809 | 29.6 | 16,884 | △20.0 |

| | 1株当たり 中間純利益 | |
|-------------|----------------|----|
| | 円 | 銭 |
| 2020年3月期中間期 | 7,550 | 11 |
| 2019年3月期中間期 | 8,442 | 29 |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|---------|--|---------|--|--------|---------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 | 銭 | |
| 2020年3月期中間期 | 777,100 | | 318,797 | | 41.0 | 159,398 | 76 | |
| 2019年3月期 | 773,717 | | 314,425 | | 40.6 | 157,212 | 56 | |

(参考) 自己資本 2020年3月期中間期 318,797百万円 2019年3月期 314,425百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|---------|-----|--------|-------|--------|-------|--------|-------|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 175,700 | 2.6 | 36,600 | △18.3 | 34,700 | △18.4 | 21,400 | △24.6 | 10,700 | 00 |

※中間決算情報は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）通期連結業績予想」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算情報」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 1 |
| (1) 経営成績の概況 | 1 |
| (2) 財政状態の概況 | 2 |
| (3) キャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 通期連結業績予想 | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 中間連結損益及び包括利益計算書 | 8 |
| (3) 中間連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (セグメント情報) | 11 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 14 |
| 4. 中間個別財務諸表 | 15 |
| (1) 中間貸借対照表 | 15 |
| (2) 中間損益計算書 | 17 |
| (3) 中間株主資本等変動計算書 | 18 |

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに景気は回復しております。

また、日本政府観光局の統計によりますと、2019年の訪日外国人旅行者数は9月30日までの累計で2,442万人となり、2018年の2,347万人を4.0%上回りました。

こうした状況の中、当社グループは、2019～2021年度の3ヵ年中期経営計画「飛躍、未来 2021」と、成田国際空港が目指す空港像である長期経営構想を合わせた「NAAグループ中長期経営構想」において掲げた成田国際空港の目指す空港像の実現に向け、各種施策に取り組んでおります。

成田国際空港の更なる機能強化については、国、千葉県、空港周辺9市町、当社による「成田空港に関する四者協議会」（以下、「四者協議会」という。）において、2018年3月13日に事業を実施していくことが確認され、2019年2月4日に開催された四者協議会においては、A滑走路の夜間飛行制限の変更を2019年冬ダイヤから実施することが確認されました。

当中間連結会計期間においては、2019年冬ダイヤからのA滑走路の夜間飛行制限の変更に向け、夜間延長時間帯の運用体制の構築やお客様・従業員向けのアクセス確保等の施策を進めるとともに、滑走路新設等の事業着手に向け、航空法に基づく空港等変更許可申請等に向けた準備を実施してまいりました。

なお、当中間連結会計期間後の10月27日には、成田国際空港に携わる全ての関係者のご尽力により発着時間を1時間延長した運用を始めることができました。また、11月5日には、国において、成田国際空港株式会社法第3条に基づく基本計画が改定され、更なる機能強化が当社の取り組む事業として正式に位置づけられたことを受け、11月7日には、航空法に基づく空港等変更許可申請を行いました。

航空ネットワークの更なる拡充については、9月に国土交通省から、日中間の輸送に関し、「成田・北京・上海に係る輸送力制限を大幅に緩和する」旨の公表がありました。当社グループとしては、この機会を大きなチャンスとして、積極的に中国航空会社に対して路線誘致に向けた営業活動を実施してまいります。

また、9月の台風15号襲来時は、空港アクセスも含めた空港全体で機能を確保していくための体制を構築できていなかったこと、お客様への多言語を含めた十分な情報提供ができなかったこと、根本的に滞留者を発生させないという対策が十分にできていなかったことといった非常時対応における課題が明らかとなりました。

この教訓を踏まえ、着陸制限措置も含め、自然災害等非常時における対応体制等を検証、改善した結果、その後10月に発生した台風19号や豪雨の際には、お客様の滞留も大幅に抑制することができました。

来年度には、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京2020大会」という。）が開催されることから、空港BCPのブラッシュアップを図りながら、成田国際空港を安全・円滑にご利用いただくための対応をより強化してまいります。

これらの取り組みの結果、当中間連結会計期間における航空機発着回数は、国際線における韓国線、欧州線、中国線の新規就航や増便、国内線における長崎線、高知線、下地島線、庄内線の新規就航等により、前年同期比5.0%増の135,126回となりました。航空旅客数は、国際線において旺盛な訪日需要や航空路線の拡充等を背景に外国人旅客数が引き続き伸びたことに加え、日本人旅客数も堅調に推移したこと、また、国内線において新規就航や増便が多く行われたことから、前年同期比4.0%増の22,608千人となりました。国際航空貨物量は、仮陸揚貨物の取扱量が増加したものの、原動機・プラスチック等の輸出・輸入が低調に推移したこと、前年同期比7.7%減の1,020千tとなりました。給油量は、国際線貨物便の運航回数が増加したことや国際線旅客便で新規就航や増便が多くなされたことから、前年同期比3.6%増の2,286千klとなりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における業績は、営業収益は前年同期比1.4%増の126,797百万円、営業利益は東京2020大会に対応する施設改修費用に加え、金利低下による退職給付費用の増加等により、前年同期比5.9%減の29,337百万円、経常利益は前年同期比6.3%減の28,455百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比10.3%減の18,395百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(空港運営事業)

空港運営事業では、国際線、国内線旅客便の新規就航や増便等により航空機発着回数が増加し、空港使用料収入は前年同期比3.3%増の21,052百万円となりました。また、航空機発着回数の増加等により給油量が増加し、給油施設

使用料収入は前年同期比3.6%増の7,977百万円となりました。一方、旺盛な訪日需要等を背景とした国際線外国人旅客数の増加等に伴い、旅客施設使用料収入は前年同期比3.0%増の21,669百万円となりました。

以上の結果、営業収益は前年同期比3.2%増の57,512百万円、営業利益は東京2020大会に対応する施設改修費用に加え、金利低下による退職給付費用の増加等により前年同期比12.2%減の7,013百万円となりました。

(リテール事業)

リテール事業では、東京2020大会に向けた店舗改修に伴う営業休止や元安等による中国系旅客の消費マインドの低下等により、子会社が運営する直営店舗の物販・飲食収入は前年同期比0.1%減の40,887百万円、一般テナントからの構内営業料収入は前年同期比6.2%減の5,962百万円となりました。

以上の結果、営業収益は前年同期比0.6%減の51,949百万円、営業利益は店舗数の増加に伴う人員増等により人件費が増加し、前年同期比5.6%減の14,442百万円となりました。

(施設貸付事業)

施設貸付事業では、営業収益は前年同期比1.2%増の15,843百万円、営業利益は前年同期比0.4%減の7,668百万円となりました。

(鉄道事業)

鉄道事業では、営業収益は前年同期比0.1%減の1,492百万円、営業利益は前年同期比7.1%減の337百万円となりました。

(2) 財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産合計は820,064百万円、負債合計は447,113百万円、純資産合計は372,951百万円となりました。

(資産の部)

資産は、前連結会計年度末比0.1%増の820,064百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が増加したこと等により前連結会計年度末比4.9%増の70,089百万円となりました。固定資産は、減価償却が進んだことにより前連結会計年度末比0.3%減の749,975百万円となりました。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末比1.6%減の447,113百万円となりました。流動負債は、1年内償還予定の社債の減少等により前連結会計年度末比22.9%減の73,536百万円となりました。固定負債は、社債の発行等により前連結会計年度末比4.0%増の373,577百万円となりました。なお、長期借入金残高(1年内返済を含む)は42,500百万円となり、社債残高(1年内償還を含む)334,000百万円と合わせた長期債務残高は前連結会計年度末比1.4%減の376,500百万円となりました。

(純資産の部)

株主資本は、前連結会計年度末比2.1%増の365,687百万円となりました。これは、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する中間純利益が18,395百万円計上されたことによるものです。当中間連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の43.5%から44.5%へ増加しました。

非支配株主持分は、前連結会計年度末比0.4%増の8,034百万円となり、その他の包括利益累計額を含めた純資産合計は、前連結会計年度末比2.3%増の372,951百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期比1,098百万円増の42,800百万円となりました。フリー・キャッシュ・フローは、前年同期比4,312百万円減の23,311百万円のキャッシュ・インとなりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益の減少等により前年同期比279百万円減の40,125百万円のキャッシュ・インとなりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出の増加等により前年同期比4,033百万円増の16,813百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還による支出は増加したものの、社債の発行等により前年同期比5,069百万円減の16,329百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2017年 3月期 | 2018年 3月期 | 2019年 3月期 | 2019年 3月期中間期 | 2020年 3月期中間期 |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|-----------------|
| 自己資本比率 (%) | 36.8 | 41.1 | 43.5 | 42.2 | 44.5 |
| 債務償還年数 (年) | 6.5 | 6.2 | 4.9 | — | — |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 14.3 | 16.7 | 23.1 | 23.2 | 31.6 |

・自己資本比率：自己資本（純資産－非支配株主持分）／総資産

・債務償還年数：（社債＋短期借入金＋長期借入金）／営業活動によるキャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー／利息の支払額

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）社債・長期借入金は、いずれも1年以内に償還・返済期限が到来するものを含んでおります。

（注3）債務償還年数は、中間期は記載しておりません。

(4) 通期連結業績予想

2020年3月期の成田国際空港の航空取扱量は、航空機発着回数は、中国線の新規就航や増便等により、前期比5.8%増の27.2万回となる見通しです。航空旅客数は、引き続きアジア方面を中心とした旺盛な訪日需要による外国人旅客数の大幅な増加に加え、日本人旅客数も堅調に推移することにより、前期比4.8%増の4,524万人となる見通しです。国際航空貨物量は、米中貿易摩擦の影響やアジア全体で荷動きが鈍化したこと等により、前期比8.2%減の195万tとなる見通しです。給油量は、旅客便を中心とした発着回数の増加等により、前期比5.6%増の468万k1となる見通しです。

空港運営事業は、中国線の新規就航や増便等に伴う航空機発着回数の増加により、空港使用料収入が増収するとともに、国際線旅客数が堅調に推移することから、旅客施設使用料収入が増収となるものの、下期においても、東京2020大会に対応する施設改修費用や退職給付費用が増加するほか、台風被害の対応費用等を見込むことから、「増収減益」となる見通しです。また、リテール事業は、国際線外国人旅客数が好調に推移するものの、東京2020大会に向けた店舗改修に伴う営業休止や元安等による中国系旅客の消費マインドの低下等により物販・飲食収入、構内営業料収入が減収となり、「減収減益」となる見通しです。

以上の結果、2020年3月期の通期業績予想は、営業収益は前期比0.8%増の2,517億円、営業利益は前期比16.7%減の465億円、経常利益は前期比16.5%減の448億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比22.0%減の279億円となる見通しです。

現時点での通期業績予想は、2019年5月14日発表の予想から、営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は下方修正しております。

なお、当業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものです。従って、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

<2020年3月期 連結業績予想>

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|---------|--------|--------|---------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 255,100 | 51,800 | 50,000 | 31,700 | 15,850.00 |
| 今回修正予想 (B) | 251,700 | 46,500 | 44,800 | 27,900 | 13,950.00 |
| 増減額 (B-A) | △3,400 | △5,300 | △5,200 | △3,800 | — |
| 増減率 (%) | △1.3 | △10.2 | △10.4 | △12.0 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2019年3月期) | 249,706 | 55,817 | 53,622 | 35,756 | 17,878.28 |

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、我が国において一般に公正妥当と認められている会計基準である日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準につきましては、我が国における適用動向等を注視している状況であり、今後の適用については未定であります。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 35,996 | 42,990 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,185 | 15,515 |
| リース投資資産 | 721 | 701 |
| たな卸資産 | 9,123 | 8,336 |
| その他 | 3,124 | 2,792 |
| 貸倒引当金 | △305 | △247 |
| 流動資産合計 | 66,847 | 70,089 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 365,102 | 362,133 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 31,239 | 31,418 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 13,559 | 13,489 |
| 土地 | 297,241 | 297,519 |
| 建設仮勘定 | 12,651 | 12,927 |
| その他（純額） | 245 | 202 |
| 有形固定資産合計 | 720,039 | 717,690 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 4,309 | 4,576 |
| その他 | 8,717 | 8,496 |
| 無形固定資産合計 | 13,026 | 13,072 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,730 | 2,894 |
| 長期貸付金 | 1,622 | 1,621 |
| 繰延税金資産 | 12,653 | 12,797 |
| 退職給付に係る資産 | 627 | 615 |
| その他 | 1,316 | 1,290 |
| 貸倒引当金 | △8 | △8 |
| 投資その他の資産合計 | 18,940 | 19,212 |
| 固定資産合計 | 752,006 | 749,975 |
| 資産合計 | 818,854 | 820,064 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 9,495 | 7,335 |
| 1年内償還予定の社債 | 40,000 | 20,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 10,700 | 10,700 |
| 未払法人税等 | 11,071 | 9,542 |
| 賞与引当金 | 2,252 | 2,534 |
| その他 | 21,867 | 23,423 |
| 流動負債合計 | 95,387 | 73,536 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 299,000 | 314,000 |
| 長期借入金 | 32,300 | 31,800 |
| 退職給付に係る負債 | 15,873 | 15,922 |
| 役員退職慰労引当金 | 330 | 214 |
| 環境対策引当金 | 1,084 | 1,084 |
| その他 | 10,487 | 10,556 |
| 固定負債合計 | 359,075 | 373,577 |
| 負債合計 | 454,462 | 447,113 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金 | 51,654 | 51,654 |
| 利益剰余金 | 206,364 | 214,032 |
| 株主資本合計 | 358,019 | 365,687 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 17 | 13 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,651 | △784 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,633 | △770 |
| 非支配株主持分 | 8,006 | 8,034 |
| 純資産合計 | 364,391 | 372,951 |
| 負債純資産合計 | 818,854 | 820,064 |

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-----------------|--|--|
| 営業収益 | 125,106 | 126,797 |
| 営業原価 | 76,521 | 78,404 |
| 営業総利益 | 48,585 | 48,392 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,421 | 19,055 |
| 営業利益 | 31,164 | 29,337 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 54 | 54 |
| 固定資産受贈益 | - | 113 |
| 持分法による投資利益 | 18 | 10 |
| 受取賠償金 | 60 | 62 |
| 店舗什器負担金 | 25 | 21 |
| 受取社宅負担金 | 26 | 30 |
| 違約金収入 | 655 | 0 |
| その他 | 119 | 160 |
| 営業外収益合計 | 960 | 453 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 138 | 49 |
| 社債利息 | 1,593 | 1,221 |
| その他 | 10 | 65 |
| 営業外費用合計 | 1,742 | 1,335 |
| 経常利益 | 30,382 | 28,455 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 1 |
| 鉄道事業補助金 | 55 | 55 |
| 国庫補助金 | 249 | 108 |
| 工事負担金等受入額 | 5 | 1 |
| 特別利益合計 | 311 | 166 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 643 | 1,797 |
| 固定資産圧縮損 | 240 | 106 |
| その他 | - | 48 |
| 特別損失合計 | 884 | 1,952 |
| 税金等調整前中間純利益 | 29,808 | 26,669 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,272 | 8,767 |
| 法人税等調整額 | 9 | △522 |
| 法人税等合計 | 9,282 | 8,245 |
| 中間純利益 | 20,526 | 18,424 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 20,509 | 18,395 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 16 | 28 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △6 | △4 |
| 繰延ヘッジ損益 | 49 | - |
| 退職給付に係る調整額 | △41 | 867 |
| その他の包括利益合計 | 0 | 862 |
| 中間包括利益 | 20,527 | 19,287 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 20,487 | 19,258 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 39 | 28 |

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主 持分 | 純資産合計 |
|-------------------------------|---------|--------|---------|------------|----------------------|-------------|----------------------|---------------------------|-------------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 株主資本 合計 | その他有 価証券評 価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 退職給付に 係る調整累 計額 | その他の 包括利益 累計額合 計 | | |
| 当期首残高 | 100,000 | 51,661 | 181,384 | 333,045 | 33 | △49 | 243 | 227 | 7,911 | 341,184 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △10,776 | △10,776 | | | | | | △10,776 |
| 親会社株主に帰属する 中間純利益 | | | 20,509 | 20,509 | | | | | | 20,509 |
| 非支配株主との取引 に係る親会社の持分 変動 | | △6 | | △6 | | | | | 6 | — |
| 株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額) | | | | | △6 | 26 | △41 | △22 | 39 | 17 |
| 当中間期変動額合計 | — | △6 | 9,733 | 9,726 | △6 | 26 | △41 | △22 | 46 | 9,751 |
| 当中間期末残高 | 100,000 | 51,654 | 191,117 | 342,772 | 26 | △22 | 201 | 205 | 7,957 | 350,935 |

当中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主 持分 | 純資産合計 |
|-------------------------------|---------|--------|---------|------------|----------------------|-------------|----------------------|---------------------------|-------------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 株主資本 合計 | その他有 価証券評 価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 退職給付に 係る調整累 計額 | その他の 包括利益 累計額合 計 | | |
| 当期首残高 | 100,000 | 51,654 | 206,364 | 358,019 | 17 | — | △1,651 | △1,633 | 8,006 | 364,391 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △10,728 | △10,728 | | | | | | △10,728 |
| 親会社株主に帰属する 中間純利益 | | | 18,395 | 18,395 | | | | | | 18,395 |
| 非支配株主との取引 に係る親会社の持分 変動 | | — | | — | | | | | — | — |
| 株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額) | | | | | △4 | — | 867 | 862 | 28 | 891 |
| 当中間期変動額合計 | — | — | 7,667 | 7,667 | △4 | — | 867 | 862 | 28 | 8,559 |
| 当中間期末残高 | 100,000 | 51,654 | 214,032 | 365,687 | 13 | — | △784 | △770 | 8,034 | 372,951 |

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 29,808 | 26,669 |
| 減価償却費 | 19,177 | 18,676 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 206 | 281 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △147 | 1,293 |
| 受取利息及び受取配当金 | △54 | △54 |
| 支払利息及び社債利息 | 1,731 | 1,270 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △18 | △10 |
| 固定資産除却損及び圧縮損 | 776 | 893 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △0 | △1 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △138 | 2,676 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △636 | 644 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,654 | △2,518 |
| 預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少) | 311 | △44 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △930 | △299 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △396 | 957 |
| その他 | 728 | 1,175 |
| 小計 | 48,762 | 51,610 |
| 利息及び配当金の受取額 | 58 | 57 |
| 利息の支払額 | △1,744 | △1,270 |
| 法人税等の支払額 | △6,671 | △10,272 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 40,404 | 40,125 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 固定資産の取得による支出 | △12,723 | △16,482 |
| 固定資産の売却による収入 | 0 | 1 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △226 | △176 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △0 | △162 |
| 貸付金の回収による収入 | 0 | 0 |
| 定期預金の払戻による収入 | 170 | — |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △0 | △0 |
| その他 | △1 | 6 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △12,779 | △16,813 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △575 | △500 |
| 社債の発行による収入 | — | 14,947 |
| 社債の償還による支出 | △10,000 | △20,000 |
| 配当金の支払額 | △10,776 | △10,728 |
| その他 | △47 | △49 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △21,399 | △16,329 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 7 | 12 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 6,232 | 6,994 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 35,469 | 35,806 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 41,702 | 42,800 |

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、業務の性質に応じて、「空港運営事業」、「リテール事業」、「施設貸付事業」及び「鉄道事業」の4つの事業活動を展開しており、これらを報告セグメントとしております。

「空港運営事業」は、発着、給油、警備等の空港施設の整備・運営及び旅客サービス施設等の空港事業に係る施設の管理・運営事業を行っております。

「リテール事業」は、商業スペースの運営事業並びに免税店（市中免税店を含む）、小売・飲食店、取次店の運営、各種空港関連サービスの提供及び広告代理業を行っております。

「施設貸付事業」は、航空会社等を主要顧客とした事務所、貨物施設等の賃貸事業を行っております。

「鉄道事業」は、成田国際空港周辺地域及び成田国際空港と首都東京を直結する鉄道事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 中間連結財務 諸表計上額(注) 2 |
|------------------------|------------|------------|------------|----------|---------|--------------|----------------------|
| | 空港運営 事業 | リテール 事業 | 施設貸付 事業 | 鉄道 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 55,714 | 52,241 | 15,657 | 1,493 | 125,106 | - | 125,106 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 4,857 | 367 | 647 | 34 | 5,907 | △5,907 | - |
| 計 | 60,571 | 52,609 | 16,304 | 1,528 | 131,014 | △5,907 | 125,106 |
| セグメント利益 | 7,986 | 15,306 | 7,698 | 363 | 31,355 | △191 | 31,164 |
| セグメント資産 | 608,185 | 62,656 | 100,266 | 42,641 | 813,750 | △464 | 813,285 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 (注) 3 | 13,883 | 1,515 | 3,180 | 682 | 19,261 | △83 | 19,177 |
| 持分法適用会社への投資額 | 253 | - | - | - | 253 | - | 253 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 | 11,280 | 2,196 | 1,977 | 12 | 15,467 | △226 | 15,241 |

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△191百万円は、各報告セグメント間の取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△464百万円には、各報告セグメント間の債権債務の相殺消去△4,459百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産3,995百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 減価償却費には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

当中間連結会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 中間連結財務 諸表計上額(注) 2 |
|------------------------|------------|------------|------------|----------|---------|--------------|----------------------|
| | 空港運営 事業 | リテール 事業 | 施設貸付 事業 | 鉄道 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 57,512 | 51,949 | 15,843 | 1,492 | 126,797 | - | 126,797 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 4,331 | 375 | 665 | 33 | 5,405 | △5,405 | - |
| 計 | 61,843 | 52,324 | 16,509 | 1,525 | 132,203 | △5,405 | 126,797 |
| セグメント利益 | 7,013 | 14,442 | 7,668 | 337 | 29,462 | △124 | 29,337 |
| セグメント資産 | 619,988 | 62,033 | 97,724 | 40,453 | 820,200 | △135 | 820,064 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 (注) 3 | 13,402 | 1,571 | 3,118 | 675 | 18,767 | △90 | 18,676 |
| 持分法適用会社への投資額 | 275 | - | - | - | 275 | - | 275 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 | 13,131 | 1,653 | 2,781 | 7 | 17,573 | △78 | 17,495 |

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△124百万円は、各報告セグメント間の取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△135百万円には、各報告セグメント間の債権債務の相殺消去△4,329百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産4,193百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 減価償却費には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

b. 関連情報

I 前中間連結会計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：百万円）

| | 空港使用料 収入 | 旅客施設 使用料収入 | 物販・飲食 収入 | 土地建物等 貸付料収入 | その他 | 合 計 |
|-----------|-------------|---------------|-------------|----------------|--------|---------|
| 外部顧客への売上高 | 20,386 | 21,048 | 40,924 | 11,766 | 30,979 | 125,106 |

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国及び地域の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国及び地域に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

| | 空港使用料 収入 | 旅客施設 使用料収入 | 物販・飲食 収入 | 土地建物等 貸付料収入 | その他 | 合 計 |
|-----------|-------------|---------------|-------------|----------------|--------|---------|
| 外部顧客への売上高 | 21,052 | 21,669 | 40,909 | 12,399 | 30,767 | 126,797 |

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国及び地域の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国及び地域に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前中間連結会計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

該当事項はありません。

当中間連結会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2019年9月30日) |
|-----------|-------------------------|---------------------------|
| 1株当たり純資産額 | 178,192.89円 | 182,458.28円 |

1株当たり中間純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|---------------------------------|--|--|
| 1株当たり中間純利益 | 10,254.94円 | 9,197.95円 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する中間純利益(百万円) | 20,509 | 18,395 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 中間純利益(百万円) | 20,509 | 18,395 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 2,000 | 2,000 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 中間個別財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (2019年3月31日) | 当中間会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-----------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 23,306 | 30,619 |
| 売掛金 | 16,102 | 13,922 |
| リース投資資産 | 721 | 701 |
| 貯蔵品 | 1,652 | 1,583 |
| その他 | 1,269 | 1,188 |
| 貸倒引当金 | △296 | △240 |
| 流動資産合計 | 42,755 | 47,774 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 217,316 | 216,720 |
| 構築物（純額） | 130,912 | 128,777 |
| 機械及び装置（純額） | 31,471 | 31,456 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 10,672 | 10,562 |
| 土地 | 295,673 | 295,952 |
| 建設仮勘定 | 12,949 | 12,829 |
| その他（純額） | 207 | 409 |
| 有形固定資産合計 | 699,203 | 696,708 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 3,596 | 3,901 |
| その他 | 9 | 8 |
| 無形固定資産合計 | 3,605 | 3,909 |
| 投資その他の資産 | | |
| 関係会社株式 | 15,272 | 15,272 |
| 繰延税金資産 | 8,384 | 8,727 |
| その他 | 4,499 | 4,713 |
| 貸倒引当金 | △3 | △3 |
| 投資その他の資産合計 | 28,152 | 28,708 |
| 固定資産合計 | 730,962 | 729,326 |
| 資産合計 | 773,717 | 777,100 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (2019年3月31日) | 当中間会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-----------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 6,778 | 5,531 |
| 短期借入金 | 30,549 | 34,077 |
| 1年内償還予定の社債 | 40,000 | 20,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 10,000 | 10,000 |
| リース債務 | 25 | 26 |
| 未払金 | 14,182 | 13,990 |
| 未払法人税等 | 8,719 | 7,634 |
| 賞与引当金 | 971 | 899 |
| その他 | 4,771 | 6,621 |
| 流動負債合計 | 115,998 | 98,781 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 299,000 | 314,000 |
| 長期借入金 | 23,000 | 23,000 |
| リース債務 | 77 | 71 |
| 退職給付引当金 | 9,820 | 10,992 |
| 役員退職慰労引当金 | 103 | 50 |
| 環境対策引当金 | 1,084 | 1,084 |
| その他 | 10,208 | 10,322 |
| 固定負債合計 | 343,294 | 359,521 |
| 負債合計 | 459,292 | 458,302 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 52,000 | 52,000 |
| 資本剰余金合計 | 52,000 | 52,000 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 圧縮記帳積立金 | 99 | 99 |
| 別途積立金 | 133,925 | 151,597 |
| 繰越利益剰余金 | 28,399 | 15,100 |
| 利益剰余金合計 | 162,425 | 166,797 |
| 株主資本合計 | 314,425 | 318,797 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | - | 0 |
| 評価・換算差額等合計 | - | 0 |
| 純資産合計 | 314,425 | 318,797 |
| 負債純資産合計 | 773,717 | 777,100 |

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

| | 前中間会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|--------------|--|--|
| 営業収益 | 86,114 | 87,865 |
| 営業原価 | 49,904 | 52,004 |
| 営業総利益 | 36,209 | 35,861 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,568 | 11,437 |
| 営業利益 | 25,640 | 24,423 |
| 営業外収益 | 827 | 294 |
| 営業外費用 | 1,659 | 1,328 |
| 経常利益 | 24,809 | 23,389 |
| 特別利益 | 249 | 108 |
| 特別損失 | 730 | 1,803 |
| 税引前中間純利益 | 24,329 | 21,693 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,241 | 6,936 |
| 法人税等調整額 | 203 | △342 |
| 法人税等合計 | 7,444 | 6,593 |
| 中間純利益 | 16,884 | 15,100 |

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | | 株主資本 合計 | 評価・換算 差額等 その他 有価証券 評価差額金 | 純資産 合計 |
|---------------------------|---------|--------------------|-------------|-----------|-------------|-------------|------------|--|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 資本準備金 | 利益剰余金 | | | | | | |
| | | | その他利益剰余金 | | | 利益剰余金 合計 | | | |
| | | | 圧縮記帳 積立金 | 別途 積立金 | 繰越利益 剰余金 | | | | |
| 当期首残高 | 100,000 | 52,000 | 99 | 115,265 | 29,436 | 144,801 | 296,801 | — | 296,801 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △10,776 | △10,776 | △10,776 | | △10,776 |
| 中間純利益 | | | | | 16,884 | 16,884 | 16,884 | | 16,884 |
| 別途積立金の積立 | | | | 18,660 | △18,660 | — | — | | — |
| 株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額) | | | | | | | | — | — |
| 当中間期変動額合計 | — | — | — | 18,660 | △12,551 | 6,108 | 6,108 | — | 6,108 |
| 当中間期末残高 | 100,000 | 52,000 | 99 | 133,925 | 16,884 | 150,910 | 302,910 | — | 302,910 |

当中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | | 株主資本 合計 | 評価・換算 差額等 その他 有価証券 評価差額金 | 純資産 合計 |
|---------------------------|---------|--------------------|-------------|-----------|-------------|-------------|------------|--|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 資本準備金 | 利益剰余金 | | | | | | |
| | | | その他利益剰余金 | | | 利益剰余金 合計 | | | |
| | | | 圧縮記帳 積立金 | 別途 積立金 | 繰越利益 剰余金 | | | | |
| 当期首残高 | 100,000 | 52,000 | 99 | 133,925 | 28,399 | 162,425 | 314,425 | — | 314,425 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △10,728 | △10,728 | △10,728 | | △10,728 |
| 中間純利益 | | | | | 15,100 | 15,100 | 15,100 | | 15,100 |
| 別途積立金の積立 | | | | 17,671 | △17,671 | — | — | | — |
| 株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額) | | | | | | | | 0 | 0 |
| 当中間期変動額合計 | — | — | — | 17,671 | △13,299 | 4,372 | 4,372 | 0 | 4,372 |
| 当中間期末残高 | 100,000 | 52,000 | 99 | 151,597 | 15,100 | 166,797 | 318,797 | 0 | 318,797 |